

B5サイズで
作成しています

令和7年度大学入学共通テスト 試作問題『公共，倫理』

〔 100 点 〕

- 試験時間 60 分
- 出題範囲 「公共」と「倫理」を総合した範囲から出題

「地理歴史」「公民」は以下の出題科目 6 科目のうちから最大 2 科目を選択し、解答する。

『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』
『公共，倫理』，『公共，政治・経済』，『地理総合，歴史総合，公共』

2 科目を選択解答する受験者が『公共，倫理』を選択する場合，もう一方の科目として以下を選択することはできない。

- × 『公共，政治・経済』
- × 『地理総合，歴史総合，公共』の「地理総合」及び「公共」の組合せ
- × 『地理総合，歴史総合，公共』の「歴史総合」及び「公共」の組合せ

○ 作成の趣旨及び留意点

本試作問題は，令和7年度大学入学共通テストから新たに出題科目として設定する『公共，倫理』について具体的なイメージの共有のために作成・公表するものです。

本試作問題は専門家により作成されたものですが，過去の大学入試センター試験や大学入学共通テストと同様の問題作成や点検のプロセスを経たものではありません。

なお，令和7年度大学入学共通テストの出題内容については，本試作問題の作成を踏まえつつ，引き続き検討することとしています。

※ 本試作問題に関する説明は，「試作問題「公民」の概要」を御覧ください。

公 共 ， 倫 理

(解答番号 ~)

第1問 次の生徒 **X** と生徒 **Y** の多様性と共通性に関する会話文を読み、後の問い(問1~4)に答えよ。なお、設問の都合上、**X** と **Y** の各発言には番号を振っている。
(配点 13)

- X1** : 2021年に開催されたオリンピック・パラリンピックは①「多様性」がテーマの一つだったね。「違いを認め合おう」とメッセージを発信していた。人種や民族、文化、性別、宗教、地域、障害の有無等の違いを認め合おうということだね。
- Y1** : 様々な「違い」が強調されるんだけど、それぞれが「同じ」尊厳ある人間だという共通性については、あまり強調しない。
- X2** : でも、②人間はそれぞれの地域に固有の文化や伝統の中に生まれ落ち、その文化や伝統を糧にして育つ。だから人も社会も文化も違っていて多様なんだよね。
- Y2** : 一方で、人間が生まれながらにもつとされる自然権や基本的人権といった権利が、多様な人間の共通性の基盤ともなっている。自然法を起点にして③各種の法を捉えるという思想もある。
- X3** : その思想に近いものは、ほかにもあるのかな。
- Y3** : 例えば、行為の善さは行為の結果にあるのではなく、多様な人々に共通している人格を尊重しようとする意志の自由にあるという思想が挙げられる。この思想を唱える哲学者は、すべての人には地表を共同で所有する権利があるのだから、どんな人にも外国を「訪問する権利」があると言っている。

問1 多様性と共通性に関する生徒Xと生徒Yの会話文について、次のア～エの考えのうち、Y3の発言にある「この思想を唱える哲学者」の考えとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 1

ア 人間は自分で自分のあり方を選択していく自由な存在であると同時に、自分の選択の結果に対して責任を負う存在でもある。個人の選択は社会全体のあり方にも影響を与えるので、社会への参加、すなわち「アンガジュマン」を通して個人は社会に対して責任を負う、という考え

イ 人間はこの世界では不完全で有限だが、この世界に生まれる以前、魂は、完全で永遠な「アイデア」の世界にあったので、この世界においても、魂は、アイデアへの憧れをもっている。その憧れが哲学の精神であり、統治者がこの精神をもつことによって、理想的ですぐれた国家が実現できる、という考え

ウ 人間は各々個別の共同体で育ち、共同体内で認められることで自己を形成する。それゆえ、個人にとっての善と共同体にとっての善とは切り離すことができず、各共同体内で共有される「共通善(公共善)」とのつながりによって、個人の幸福で充実した生は実現する、という考え

エ 人間は自己を目的として生きており、どんな相手をも手段としてのみ利用してはならない。この道徳法則に従うことを義務として自らを律する人々が形成する社会を普遍的な理念とするべきであり、「永遠平和」を実現するためには、この理念を国際社会にも拡大すべき、という考え

① ア ② イ ③ ウ ④ エ

問2 下線部④に関して、ある鉄道会社で就業体験活動をした生徒Xは、その資料室で見ることができた1970年代の写真と現在の様子を比べ、多様性の尊重として、ア～エに示す改善・工夫が行われてきたことに気付いた。それらは、法令の施行や改定とも関連があると思われた。

後の法令A～Cのうち、BとCの目的・趣旨に基づく改善・工夫をア～エのうちからそれぞれ選び、その組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 2

気付いた改善・工夫

- ア 昔の写真ではお守りや御札がオフィスや運転席に置かれているが、現在では置かれていない。
- イ 昔の写真では車掌や運転士は男性で、女性はオフィスで働いているが、現在では多くの業務に女性も男性も従事している。
- ウ 昔の写真では改札口の間が狭く、ホームをつなぐ高架には階段しかないが、現在では幅が広い改札口もあり、エレベーターなども設置されている。
- エ 昔の写真では駅や車内の案内は漢字やひらがな、ローマ字つづりでの表示であるが、現在では多言語表示がなされている。

- A 消費者基本法
B 障害者差別解消法
C 男女雇用機会均等法

- ① B－ア C－ウ
② B－ア C－エ
③ B－イ C－エ
④ B－ウ C－ア
⑤ B－ウ C－イ
⑥ B－エ C－イ

(下書き用紙)

公共，倫理の問題は次に続く。

問3 下線部⑥に関して、生徒Xと生徒Yの学校では課外活動で地元の自治体に協力し、桃の節句、菖蒲の節句に合わせてSDGsに関するイベントを企画することになった。次のイベント企画案は、市役所のエントランスホールなどの施設を利用して、一回につき二つの目標を取り上げるものである。

イベント企画案中の **ア** ・ **イ** に当てはまる目標の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **3**

イベント企画案

目 標	月	イベント概要
ア と 	2 ～ 3	性にかかわらず、すべての人が様々な分野を通じて、社会全体の創造性などに寄与できるようにする取組みや、国際労働機関(ILO)と国連女性機関(UN WOMEN)の取組みを紹介する。科学における女性と女児の国際デー(2月11日)、国際女性デー(3月8日)の月にあたり、雛人形の工作の準備をし、あらかじめ用意した飾り段の上に、各自で製作した様々な人形を自由に置いてもらう。
イ と 	4 ～ 5	妊娠中の人に特に重要な職場や家庭での分煙、また、多機能トイレの設置数の増加を呼びかける。若年層を喫煙の害から守る世界保健機関(WHO)の取組みを紹介する展示を行う。世界保健デー(4月7日)、世界禁煙デー(5月31日)の月にあたり、菖蒲の束をその場で作ってもらう。希望者には持ち帰り、湯船に入れてもらうなどする。

	①	②	③	④
ア	8 働きがいも 経済成長も 	11 住み続けられる まちづくりを 	13 気候変動に 具体的な対策を 	16 平和と公正を すべての人に 
イ	3 すべての人に 健康と福祉を 	10 人や国の不平等 をなくそう 	17 パートナーシップで 目標を達成しよう 	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 

問4 下線部◎に関して、生徒Xと生徒Yは日本における民法の変遷について調べてまとめた。このうち、現行の民法の内容に関する記述として正しいものを次のア～ウからすべて選んだとき、その組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 4

ア 現行の民法では、成年年齢に達するということには、親権に服さなくなるという意味がある。

イ 現行の民法では、当事者の一方が未成年である場合に、未成年が単独で相手方とした契約は、原則として後になって取り消すことができることが定められている。

ウ 現行の民法では、当事者の一方が公序良俗に反する内容の契約を申し出た場合に、相手方がそれに合意する限りにおいて、その契約は有効となり、後になって取り消すことができないことが定められている。

- ① アとイとウ ② アとイ ③ アとウ ④ イとウ
⑤ ア ⑥ イ ⑦ ウ ⑧ 正しいものはない

第2問 「公共」の授業で1年間のまとめとして、生徒Xは同じ関心をもつ生徒たちとグループをつくり、「人口減少が続く中でどのような社会をつくれればよいか」という課題を設定し、探究活動を行った。これに関して、後の問い(問1~4)に答えよ。
(配点 12)

問1 生徒Xたちは、人口減少の要因やその対策を考察するための資料を収集・分析する中で、人口減少の主要因は少子化だと考え、出産・子育て支援策について検討した。次の生徒Xたちのメモ中の **A** ・ **B** に当てはまるものの組合せとして最も適当なものを、後の①~⑥のうちから一つ選べ。 **5**

生徒Xたちのメモ

出産や子育ては、社会状況の変化などにより、保護者となる世代に個人的な負担が重くのしかかってきた。

日本においては、1972年に児童手当法が施行され、保護者に対し、児童手当が支給されている。児童手当法はその後の改定の過程で、出生順位の規定が撤廃され、支給対象年齢が拡大され、現在は子どもの年齢や出生順位によって金額に重みがつけられている。ただし、児童手当の支給には保護者の所得制限がある。一般的に給与などは、各人の能力や功績に比例して決められる、すなわちアリストテレスが言う **A** 的正義に基づいていることが少なくない。一方、児童手当の所得制限では、収入が高ければ逆に支給が抑えられている。

児童手当などの日本の出産・子育て支援策としての社会給付は、社会が子育てに責任をもち、子育てを支えるという考え方を反映していると考えられる。アリストテレスは、法を守り、共同体の善を実現する **B** 的正義を提唱している。これからの日本では、どのような出産・子育て支援策が考えられるだろうか。

- | | | | |
|--------|------|--------|------|
| ① A—配分 | B—調整 | ② A—配分 | B—全体 |
| ③ A—全体 | B—配分 | ④ A—全体 | B—調整 |
| ⑤ A—調整 | B—全体 | ⑥ A—調整 | B—配分 |

問2 生徒Xたちは、日本とヨーロッパのOECD加盟国について、次の図1・図2を示しながら「日本は出産・子育て支援策として、保育サービスなどの『現物給付』の充実を図る必要がある。」という提案を行うことにし、事前に他のグループに説明したところ、後のア～エのような意見が他の生徒からあった。

ア～エのうち図1・図2を正しく読み取った上での意見の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

図1 「現金給付」対GDP比と合計特殊出生率

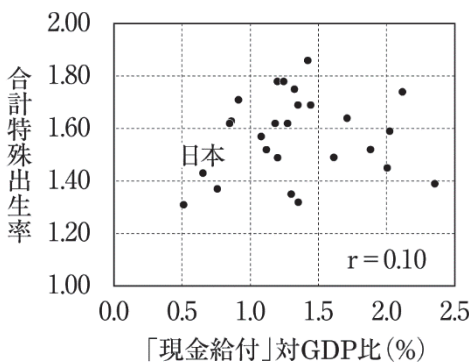
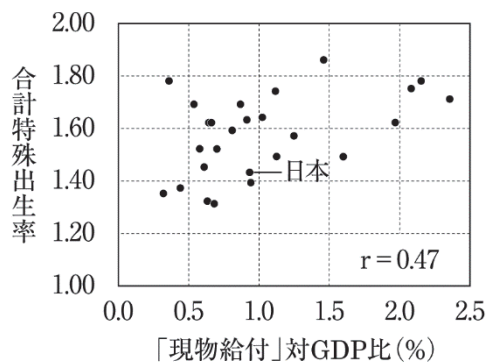


図2 「現物給付」対GDP比と合計特殊出生率



(注) 「現金給付」対GDP比及び「現物給付」対GDP比とは、家族関係政府支出「現金給付」及び「現物給付」の支出額のGDPに対する比率を表す。rは相関係数を示す。

(出所) 図1・図2ともOECD.Stat (“OECD” Web ページ)の2017年の統計により作成。

- ア 日本よりも合計特殊出生率が低いすべての国は、「現金給付」対GDP比が日本より低いため、「現金給付」より「現物給付」の充実に重点を置く提案に賛同する。
- イ 「現金給付」対GDP比と合計特殊出生率には強い相関があるため、「現物給付」より「現金給付」の充実に重点を置くべきである。
- ウ 「現物給付」対GDP比が日本より低くても合計特殊出生率が1.60を超える国々があるため、「現物給付」の充実を提案する前に諸外国の状況を調査してはどうか。
- エ 「現物給付」対GDP比と合計特殊出生率との因果関係は示されていないため、「現物給付」の充実を提案するためには別の資料も準備した方がよい。

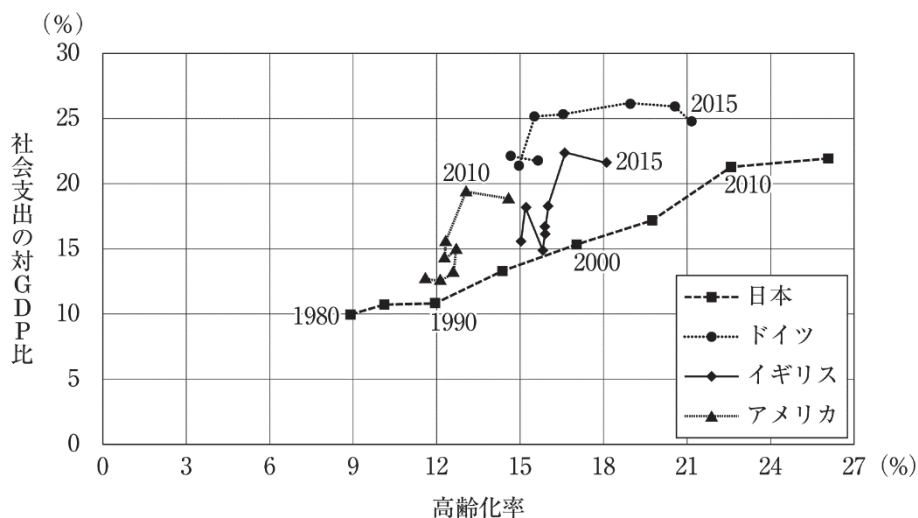
- ① アとイ ② アとウ ③ アとエ
- ④ イとウ ⑤ イとエ ⑥ ウとエ

問3 生徒Xたちは、高齢化の進行と、少子化による人口減少が進むと、社会保障の面で問題が生じるのではないかと考えた。このことを中間発表で説明したところ、「今後の日本には、どのような社会保障のあり方が望ましいと考えますか。諸外国の給付規模などとの比較を踏まえて、教えてください。」という質問が他の生徒からあった。

これに対し、生徒Xたちは準備していた次の図3を踏まえ、回答した。図3は、1980年から2015年における5年ごとの日本、ドイツ、イギリス、アメリカの高齢化率と社会支出の対GDP比が表されており、生徒Xたちの回答中のA～Dは、日本、ドイツ、イギリス、アメリカのいずれかである。

生徒Xたちの回答中のA・Dに当てはまる国名及びEに当てはまる文の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。7

図3 高齢化率と社会保障の給付規模の国際比較



(注) 横軸の高齢化率は、その国の全人口に占める65歳以上人口の割合を示している。縦軸の「社会支出」とは、人々の厚生水準が極端に低下した場合にそれを補うために個人や世帯に対して財政支援や給付をする公的供給のことを表している。

(出所) 厚生労働省「令和2年版厚生労働白書」により作成。

生徒Xたちの回答

A は、1980年から2015年にかけて、**図3**中の他のいずれの国よりも急速に高齢化が進行したと言える。そのため、社会保障の給付規模は、高齢化率が高くなるに従って、社会支出の対GDP比も大きくなっている。

B は、高齢化率も社会支出の対GDP比も相対的に低い水準にある。こうした傾向は、市場経済を重視する立場から、労働移動や自助努力を促す政策を展開してきたことと関連していると考えられる。

C では、1995年から2010年にかけて社会支出の対GDP比はほぼ横ばいであった。また、**C** は市場経済を重視していると考えられるが、1980年においてすでに他国と比べて高水準の社会支出対GDP比を実現していた。

C に次いで1980年に高齢化率が高かった**D** では、1990年から2010年にかけて社会支出の対GDP比が大きく引き上げられた。この現象は、1990年代にそれまでの政策からの転換を遂げたことと関連していると考えられる。

このようにして、**図3**に基づいて考えると、**E** が、今後の日本における社会保障のあり方を構想するための重要な要因になるだろう。

- | | A | D | E |
|---|----------|----------|---|
| ① | 日本 | アメリカ | 一定期間における高齢化率の伸びに対する社会支出の対GDP比の割合を大きくするか否か |
| ② | 日本 | アメリカ | 市場経済と社会保障の双方を重視する政策を推進し、高齢化率を大幅に抑制し続けるか否か |
| ③ | 日本 | イギリス | 一定期間における高齢化率の伸びに対する社会支出の対GDP比の割合を大きくするか否か |
| ④ | 日本 | イギリス | 市場経済と社会保障の双方を重視する政策を推進し、高齢化率を大幅に抑制し続けるか否か |
| ⑤ | ドイツ | アメリカ | 一定期間における高齢化率の伸びに対する社会支出の対GDP比の割合を大きくするか否か |
| ⑥ | ドイツ | アメリカ | 市場経済と社会保障の双方を重視する政策を推進し、高齢化率を大幅に抑制し続けるか否か |
| ⑦ | ドイツ | イギリス | 一定期間における高齢化率の伸びに対する社会支出の対GDP比の割合を大きくするか否か |
| ⑧ | ドイツ | イギリス | 市場経済と社会保障の双方を重視する政策を推進し、高齢化率を大幅に抑制し続けるか否か |

問4 生徒Xたちは、最終発表に向け、人口減少及び高齢化が進行する自らの地域において、高齢者がよりよい生活を送るためにはどのような施策が考えられるかということについて話し合った。次の会話文中の **A** ～ **C** に当てはまる文の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 **8**

X：人口減少、高齢化が進行している私たちの住む地域の中で、どのような施策が考えられるだろうか。

Y：私たちの住む地域は高齢者世帯が多いことから、行政主体での、希望するすべての高齢者世帯への家事援助や配食サービスの実施を提案してはどうだろうか。

X：公正を重視した提案だね。新たな社会保障の施策を考える時に大切な考え方だ。では、効率の面からはどうか。

Z：効率の面からみると、 **A**。

Y：そうだね。Zさんの発言に加えると、 **B** ということも考えられるから効率的だし、地元にもメリットがあるね。

W：でも、効率が安易に追求されすぎて、利用者の生活の質(QOL)が損なわれることになってはいけない。提供されるサービスの質を確保し、すべての利用者が適切にサービスを受けられるという公正さの確保も大切なことだ。だから **C** とよいのではないかな。

X：施策を考えるには、様々な視点や立場から検討することが大切だね。

A に入る文

- ア このようなサービスは、新たに行政が始めるよりも、入札を実施して、ノウハウをもつ民間企業に委ね、サービスの提供に関わる費用を行政が負担して提供する方がよいのではないかな
- イ このようなサービスは、各自治体が住民の求めるすべてのサービスに対応できるようにするために、ニーズの有無に関わらず大きな組織を複数作って提供する方がよいのではないかな

B に入る文

- ウ 行政に幾つもの新しい組織が作られることで、その運営に関わる費用が多少増えても、多くの組織が作られることによる新たな雇用の創出が期待できる
- エ 企業は業務を請け負い、また利潤を得るために無駄な経費を抑えらるうし、また、その地域で新たな雇用の創出が期待できる

C に入る文

- オ 行政には、すべての企業がその規模や過去の実績に関わらず入札に参加できる機会の公正を確保する役割を担ってもらう
- カ 行政には、企業から高齢者世帯へのサービスの提供後に、その内容を点検することによって公正さを確保する役割を担ってもらう

- ① A-ア B-ウ C-オ ② A-ア B-ウ C-カ
③ A-ア B-エ C-オ ④ A-ア B-エ C-カ
⑤ A-イ B-ウ C-オ ⑥ A-イ B-ウ C-カ
⑦ A-イ B-エ C-オ ⑧ A-イ B-エ C-カ

第3問 次の場面1および後の場面2・3の文章を読み、後の問い(問1～9)に答えよ。(配点 28)

場面1 生徒A、生徒Bおよび途中で一緒になった生徒Cが、学校からの帰り道で歩きながら次の会話をしている。

A：今日は月がきれいだね。そういえばこの前の皆既月食、見た？

B：いや、曇りで見えなかったよ。でも、月食は不吉だと考えられていた時代もあったようだし、別に見たいとも思わなかったな。

A：月食なんてただの自然現象だから、不吉なんて考えは迷信だよ。天体の動きを予測したり説明したりできるのは科学のおかげだし、やっぱり①近代科学を支えた自然観は真実なんじゃないかな。

C：それって授業で習った、「自然の数学化」のことだね。そういう自然観に基づいて天体にまで望遠鏡を向けるような科学が、発見を重ね、多くの自然現象を予測可能にしたけれど、自然科学では説明できないこともあるよね。たとえば、②人間はどんな権利をもっているのかといったことについては、社会思想では説明できるけど、自然科学では説明できないんじゃないかな。

A：個人や社会についてのさまざまなデータがそろえば、物質の状態や使用法を科学的に説明するのと同じように、幸福を科学的に定義したり、個人がもっている能力にあったその人の権利を科学的に根拠づけたり、その権利を守るための科学的立法と運用が始まるかもしれないね。

C：そこまで科学が発達すると、③人と人との対立や争いといった試行錯誤を経て教養や歴史がつくられるという世界観も変わるのかな。

問 1 下線部④で述べられている自然観を説明した記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- ① 自然を、神の身体と考え、人間はその仕組みを実験・観察・推理によって解明しようとする事自体を慎むべきであるという自然観。
- ② 自然を、どんな素材が何の目的のために、どんな形をめざして、どんな作用で変化するのかを解明することで理解できる生命的運動とみなす自然観。
- ③ 自然の現象は、時計の仕組みと同じように、人間が計測・計量化できる要素相互の因果関係を解明することによって説明できると考える自然観。
- ④ 自然の現象は、そのメカニズムの目的や意味を伝統的かつ宗教的な知見と照らし合わせることを通じて理解されるべきと考える自然観。

問 2 下線部⑥に関連して、市民革命期の思想に大きな影響を与えた同一思想家の考えを次のア～カの考えのうちから二つ選ぶ場合、その組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ア 人の自然状態は、自己保存の欲求を満たそうとするために戦争状態になる。
- イ 人の自己保存の欲求は、自然状態でも思いやりによって補正されている。
- ウ 人は、自然状態でも、みずからの人格に対する所有権をもっており、人格を用いて労働した成果への所有権をもっている。
- エ 国王が国家を支配する権利は、神から授けられたものであり、人は無条件にこれに服従すべきである。
- オ 人は、自然権の一部を政府に信託することに自発的に同意するときのみ、支配される。
- カ 人は、自発的な契約や同意によってではなく、必要上習慣的に政府に服従しているにすぎない。

- ① アとオ ② イとカ ③ ウとオ ④ エとカ

問3 下線部◎に関して、生徒Cは、クラスのオンライン掲示板に次の記事を投稿し、クラスみんなに問いかけた。記事中の空欄 **ア** ~ **ウ** に当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後の①~④のうちから一つ選べ。

11

記事

月日 投稿者 C

科学はなんでも説明できるようになるのでしょうか。友人は、個々の人間がどんな権利をもつかについても、科学的説明が可能となるというのです。個人がもっている能力を科学的に計測し、その人の能力にあった権利を与えることができるようになれば、対立や争いを減らし、個人と社会全体の幸福量を合理的に増やすことができるようになりますと彼はいいます。でも、この考え方は、精神が **ア** を実現する過程や運動として人間の歴史をとらえるヘーゲルのような考え方と異なると思いました。

「倫理」の授業で学習したのですが、ヘーゲルは、個人の道徳性と社会の法が総合されて **ア** が実現される共同体を「人倫」と呼びました。それは家族、市民社会、**イ** の三つの段階からなるといいます。そして、各自が自分の利益を追求することで対立や争いのたえない市民社会においても、人は自分の内面にいだくものを外に向けて表現する **ウ** を通じて自己への自覚を深め、自らを形成していくとヘーゲルは考えました。また、**イ** は、家族の結びつきと市民社会における個人の独立性を総合するところに成立するとのことでした。対立や争いといった試行錯誤を経て教養や歴史がつけられるという考え方は、科学が発達すると迷信になるのでしょうか？ 科学の発達は、私たちの世界観をどのように変えるのでしょうか？ みんなはどう思いますか？

- ① ア 平等 イ 企業 ウ 止揚 ② ア 自由 イ 国家 ウ 労働
③ ア 平等 イ 国家 ウ 労働 ④ ア 自由 イ 企業 ウ 止揚

場面2 先の会話の翌日、生徒Bは、気になっていた西洋近代とは異なる自然観や世界観について図書館で調べ、次のメモを作成した。

メモ

月日

- ・近代の自然観が「当たり前」でなかった時代には、どんな自然観や世界観があったのだろう。
- ・古代ギリシャでは最初、神話的世界観があった。さまざまな自然現象や技能や能力までが神格化されて、個性豊かな神々の世界が創造されていた。
- ・その一方で、この世界は神々によって動かされ、支配されているという考えに満足できない人たちもいて、そのような人たちは、㊦この世界の成り立ちを論理(ロゴス)で捉えようとした。こうした考えの中には、現代の物理学が原子・分子や素粒子などから世界を説明しようとしたり、自然界の秩序を数式化して説明しようとしたりしていることに通じる面がある。
- ・そう考えてみると、古代ギリシャにはすでに、宗教的世界観と近代科学に通じる学問的世界観の両方が存在していたことがわかる。
- ・もっと視野を広げてみると、㊦他の地域でも、さまざまな種類の世界観があったようだ。
- ・いろいろな地域の古代思想を調べてみると、人間が死んだらどうなるのかなど、㊦死に関するさまざまな考えがあることがわかる。肉体のことはわかっても意識や霊魂といったものは目に見えないから、そういうものも、科学的説明では扱えない問題だったのだろう。だから、古代ギリシャで学問が発達しても、キリスト教は西欧世界に広まったのだろう。

問4 下線部㉔に関して、古代ギリシャの哲学的世界観を示す記述として、**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 世界は何でできているのかを考え、万物の元のを水と説いた。
- ② 世界は変化し続けていると考えて、火を生成流転の象徴と考えた。
- ③ 心が善悪などの作為のない状態になれば、万物はみな同じである。
- ④ 世界の原理は見えない調和であり、「数と数における比例」である。

問5 下線部㉕に関して、古代インドで発生したと考えられる世界観を示す記述を、次のア～オのうちから二つ選び、その組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ア 宇宙の根本の原理と個々の人間の根本にある実体は本質的に同一である。
- イ 神から選ばれた民は、神から与えられた律法を厳格に守ることで救われる。
- ウ 世界のすべての現象は、陰・陽という二つの気の関係から生じると考えた。
- エ 輪廻の世界から解放されるには、苦行と不殺生を守る必要があると考えた。
- オ 信者には、並ぶものなき絶対神への信仰を含む六つの信仰対象が存在する。

- ① アとイ
- ② アとエ
- ③ イとオ
- ④ ウとオ

問 6 下線部①に関して、次の資料は、生徒 B が、図書館で見つけた本の抜粋を、原意を損なわないように書き直したものである。資料の説明として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 14

資料

- ・この身体は泡あわのようなものだと知り、蜃気楼しんきろうのようなはかない本性のものであると、さとしたならば、悪魔の花の矢を断ち切って死王が見ることのできないところに行くだろう。
- ・世の中は泡のようであると見よ。世の中は蜃気楼のようであると見よ。世の中をこのように見る人を、死王は見ることがない。
- ・こどもや家畜のことに気を奪われて心がそれに執着している人を、死はさらって行く。まるで眠っている村を押し流す大洪水のように。

- ① これは、肉体は魂の牢獄であるとして、魂への配慮の大切さを説き、死は魂が肉体から解放されることだとしたプラトンの考えである。
- ② これは、現実社会における人間関係を重視し、生についてよくわからないのにどうして死のことがわかろうかと言った孔子の考えである。
- ③ これは、真理をさとり、欲望を離れた人は、苦しみの世界から解放され、死の支配を受けなくなるとしたゴータマ・シッダッタの考えである。
- ④ これは、信仰に目覚め、キリストがその内に生きている人は、体は罪のゆえに死んでも霊は義のゆえに生きるとしたパウロの考えである。

場面3 数日後、登校中に再び出会った生徒A、生徒B、生徒Cは、歩きながら次の会話をしている。

B：そう言えば、この間、帰り道で会って少し話したよね。ちょっと気になって次の日、図書館でいろいろ調べてみたんだ。

A：そうなんだ。何か面白いことが分かったのかな。

B：うん、いろいろわかったよ。たとえば、西洋だと古代ギリシャではいろいろな学問がある程度発達していたよね。でも、キリスト教が広まったということは、やっぱり何か学問的知識とは別のものが必要とされていたんじゃないかと思うんだ。

A：でも、それは古い時代の話だよね。現代では科学がみんな解決してくれるんじゃないのかな。今はまだそうでなくても、いずれはそうなるんじゃないかなと思うけど。

C：それは科学万能主義というものだね。でも、逆に科学時代になってから出てきた難しい問題もあるんじゃないのかな。ニーチェが言ったように、現代人は⑧ニヒリズムに陥ってしまうという問題とか。確か先生が授業で資料を配っていたよね。

A：そうだね、「倫理」の授業で学習したあれだね。でも、ニーチェは、「超人」という解決法を用意していたよ。

B：でも、「超人」って、英語でいえば「スーパーマン」だから、⑨人間の限界を超えるってことだよね。そんなことは、誰にでもできるわけじゃないんじゃないかなあ。

A：そう言われればそうだなあ。でもそうすると、昔からの⑩問題は、科学時代の今でも問題であり続けているということになるのかな。

- 問7 下線部⑧に関して、次の資料は、「倫理」の授業中に、先生が配付したものである。後のア～エのうち、資料で示されているニヒリズムの発生過程の具体例として当てはまるものはどれか。当てはまるものをすべて選び、その組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 15

資料

○ニーチェの遺稿から

心理学的状態としてのニヒリズムは、まず第一に、いっさいの出来事のなかに実際には存在しないひとつの「意味」をさがし求め、その結果その探求者がついに氣力を失うにいたった場合に生じざるをえないだろう。

(中略)

これらすべてに共通しているのは、なにかあるものは過程そのものによって達成されるはずだという考え方である。——そしていまや生成で目差されているものはなにもなく、達成されるものもなにもないという事態ははっきりする……かくしてニヒリズムの原因としてのいわゆる生成の目的に関し幻滅することになる。この幻滅はひとつのまったく特定の目的に関しても、また一般的に、全「発展」に関わるこれまでのあらゆる目的仮説が挫折したという洞察に関しても同じように起こる。(——人間はもはや生成の協力者ではなく、いわんや生成の中心点などではない)

- ア 歴史的出来事は意味をもつが、それは解釈の仕方によって変化するので確定できず、そこに客観的意味を見いだそうと努力するとき、その試みは失敗してニヒリズムが到来する。
- イ この世界は神によって創造され、世界の歴史は神の摂理に導かれて目的に向かって進むという信仰が失われたとき、世界の出来事や人生の意味が見失われてニヒリズムが到来する。

ウ 科学的研究によって開発される製品には、その最初の使用目的が平和的なものであっても軍事的目的に転用可能なものがあるため、科学への信頼が失われてニヒリズムが到来する。

エ 実存としての人間には予め定められた本質がないため、自ら生きる目的を主体的に設定するが、目的達成までの道のりは険しいため、努力する気力が失われてニヒリズムが到来する。

- ① イ
- ② ウ
- ③ アとウ
- ④ イとエ
- ⑤ アとイとエ
- ⑥ アとウとエ

問 8 下線部①に関して、次のア～エの中で、20世紀の思想家が唱え始めた主張として正しいものはどれか。当てはまるものをすべて選び、その組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 16

ア 人間は原罪を負っているため、人間の救済は自らの自由意志によってではなく、神の無償の愛である恩寵による。

イ 人間は世界の中に投げ込まれ、死へと向かう存在であるが、その死と向き合うことで、本来の自己に立ち返る。

ウ 人間の悲劇は、偏見や独断によって生じるから、「私は何を知るか」という反省を謙虚に繰り返さねばならない。

エ 人間は死、苦悩、争い、罪責といった限界状況にぶつかって挫折するが、それを通して永遠の超越者に出会う。

- ① イ ② アとウ ③ イとエ ④ アとウとエ

- 問 9 下線部①に関して、生徒Aは、この「問題」についてクラスのオンライン
掲示板に次の記事を投稿し、クラスの生徒に伝えることにした。記事中の空欄
ア～ウに当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後の
①～⑥のうちから一つ選べ。 17

記事

月日 投稿者 A

今日は、ここ数日、Bさん、Cさんと議論していることを投稿します。帰り道にたまたま三人が一緒になったのですが、月食が不吉だという話から、自然科学的な見方以外は迷信だと言えるのかという話になりました。人間の権利も自然科学で説明できるかという疑問からCさんはいろいろ考えてこの掲示板に投稿していました。後でBさんが図書館で調べると、似たような問題は西洋でも東洋でも昔からあったことがわかりました。たとえば古代ギリシャではさまざまな学問が発達していましたが、それでも地中海地方にキリスト教が広まったので、人間のアのみによって得られる真理とは別の何か求められていたとも考えられます。近代以降になると、この問題はイと宗教の関係をめぐる問題になります。

イで解決される事柄がますます増える一方で、ニヒリズムなどの新しい問題も生じました。ウものに関する思索は今も続けられていて、私たちもこのことをさらに調べたり考えたりしたいと思いました。

- | | | | | | | |
|---|---|----|---|----|---|--------------|
| ① | ア | 感性 | イ | 政治 | ウ | 人間の営為とそれを超える |
| ② | ア | 知性 | イ | 政治 | ウ | 学問的知識で説明できない |
| ③ | ア | 感性 | イ | 政治 | ウ | 東洋と西洋双方に普遍的な |
| ④ | ア | 知性 | イ | 科学 | ウ | 人間の営為とそれを超える |
| ⑤ | ア | 感性 | イ | 科学 | ウ | 学問的知識で説明できない |
| ⑥ | ア | 知性 | イ | 科学 | ウ | 東洋と西洋双方に普遍的な |

第4問 生徒D, 生徒E, 生徒Fは, 先生と「倫理」の授業の総復習を行っている。

次の会話文1および後の会話文2・3を読み, 後の問い(問1~5)に答えよ。

(配点 15)

会話文1

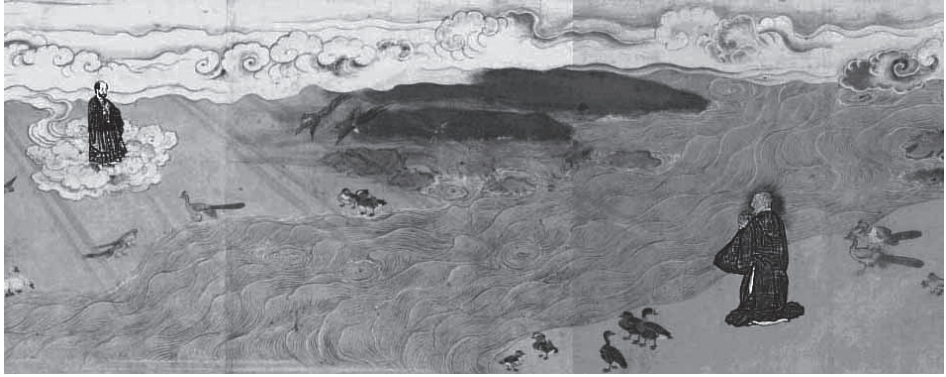
D : 先生, 古い時代には, ㉔聖人の教えを理想として崇めるような思想が多いし, 結局, 今の私たちとはほとんど関係ないんじゃないでしょうか?

先生 : 聖人の教えを崇めるというのはやみくもに信じ込むのではなく, それを人生の理想として主体的に選び取ることなんじゃないかな? たとえば, ㉕法然は「選択」ということを強調しているけれども, これは, 衆生を救う方法として阿弥陀仏が「念仏」を選んだというだけじゃなく, 衆生である自分自身が阿弥陀を信じて念仏を称える生き方を選ぶということも意味しているんですよ。

問1 下線部㉔に関連して, 伊藤仁斎は, 『童子問』で『論語』を「最上至極宇宙第一の書」と呼び, 孔子を「人類史上空前の聖人で, 堯舜よりはるかにまさっている」と述べている。仁斎の孔子観として最も適当なものを, 次の①~④のうちから一つ選べ。 18

- ① 孔子は, 一般の人には知り難い究極の真理を発見した。
- ② 孔子は, 一般の人が聖人になるための修行法を発明した。
- ③ 孔子は, 聖人と一般の人を区別する社会秩序を作った。
- ④ 孔子は, 聖人の行いから一般の人が行い易い道を構築した。

- 問2 下線部⑤に関して、生徒Fは、『法然上人絵伝』の中にある次の絵を資料として用いた「倫理」の授業の要点をノートに書き留めた。後のノート中の空欄 **ア** ～ **ウ** に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 **19**



ノート

絵の右側の人物が法然で、左側の人物が唐の僧侶 **ア** である。雲は極楽浄土を象徴する紫雲で、極楽浄土に住むとされるクジャクやオウムの姿も見える。**ア** の教えを尊崇していた法然が夢で **ア** と対面したという言い伝えを描いたものである。

法然は、称名念仏こそすべての衆生を救おうという阿弥陀仏の **イ** に適った行であると説いたが、こうした教えは **ア** の思想に基づくものである。**ウ** の『往生要集』が、法然が **ア** の教えと出会う一つの機縁となっている。

- ① **ア** 竜樹 **イ** 正機 **ウ** 源信 ② **ア** 善導 **イ** 正機 **ウ** 源信
 ③ **ア** 竜樹 **イ** 正機 **ウ** 空也 ④ **ア** 善導 **イ** 正機 **ウ** 空也
 ⑤ **ア** 竜樹 **イ** 本願 **ウ** 源信 ⑥ **ア** 善導 **イ** 本願 **ウ** 源信
 ⑦ **ア** 竜樹 **イ** 本願 **ウ** 空也 ⑧ **ア** 善導 **イ** 本願 **ウ** 空也

会話文 2

E : でも、封建的な社会では、生きるも死ぬも主君の命令が絶対で、自分で自分の人生を選ぶことはできなかつたんじゃないでしょうか？

F : 僕のノートには「武士道というは死ぬことと見つけたり」って書いてあります。

先生 : その言葉で有名な㉔『葉隠』の山本常朝の主君鍋島光茂は当時としては開明的な殿様で、幕府に先んじて自分の藩で家臣の殉死を禁止したんだ。だから、常朝が主君の命令として死ぬことを強制されて、そう言っていたわけじゃないんですよ。

E : なるほど、古い時代には現代のような自由は認められていなかったけれど、むしろ困難な状況だからこそ自分の生き方を自分に向けて問い、考えたんですね。逆に現代も、すべてが自由なわけじゃないですよ。

D : 確かに現代も一見自由に見えるけど、女性差別も根強くて、女子が自分の人生を主体的に生きるのは大変なのかも。私ももっとよく考えたい！ このあいの㉕国学についての資料に女性の話が出てたっけ。

問 3 下線部㉔に関して、常朝が主君に対して行うべきと考えたこととして**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

20

- ① 主君をひたすら恋して支えるが、死ぬまでその気持ちは打ち明けない。
- ② 主君が受け入れそうもない提言・苦言を、主君のために命懸けで行う。
- ③ 泰平の世では、主君念願の事業を達成するための奉公に死力を尽くす。
- ④ 職分を知り、無駄死にしない覚悟を決め、主君の敵と戦場で斬り合う。

問4 下線部㉔に関連して、ある国学者が儒学を批判しながら、思想の担い手を拡張しようとした次の資料を読み、その著者名を後のア～ウのうちから、文章中の空欄 に共通して当てはまる用語を後の a～dのうちから、それぞれ正しいものを一つずつ選び、その組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 21

資料

すべて人の心というものは、真の情は、いかなる人でも愚かに未練がましいものだ。それを隠せばこそ賢こげには見えるけれども、真の心の内を探れば見れば、誰も彼も子ども・女のようにはかないものだ。外国の書は、それを隠して、表向き・うわべの賢こげなところを書き表し、この国の物語は、その心の内の真をありのままに言うがゆえに、はかなくつたなく見えるのだ。…… 物語がよいとするのは、 を知る人だ。悪いとするのは、 を知らぬ人だ。

著者名

ア 荷田春満 イ 賀茂真淵 ウ 本居宣長

空欄 に当てはまる用語

a ますらをぶり b 物の心 c 真心 d もののあはれ

- ① アー a ② アー d ③ イー a ④ イー b
⑤ イー c ⑥ ウー b ⑦ ウー c ⑧ ウー d

会話文 3

E : 能や茶道などの伝統的な芸能では、個人の自由よりも決められた「型」に従うことを強調していたように思いますが、どうなのでしょう？

F : 僕のノートに、倫理とは「一定の行為的連関の仕方」であり、人間存在における「きまり」、「かた」を意味するという◎和辻哲郎の考えが書いてあります。

先生 : 日本の芸道では、まず先に型を正しく身につけることで、むしろ自由になれるという考え方が多くみられます。和辻の倫理学も、人間が制約を受ける存在でありながら、同時に行為の主体であることを強調していますね。みなさんも、まずは過去の思想の型をよく学ぶことで、人生に対する自分なりの考え方を培っていきけるんじゃないでしょうか。

D : ためになりました。私、主体的になります！

F : それもノートに書いておこう、全部。

E : 「型に自由あり」か。

問 5 下線部◎に関連して、和辻哲郎は、倫理のあり方が時代によって変遷することについて、次の資料にあるように論じている。和辻の論じる倫理の変遷についての説明として最も適当なものを、後の①～④の中から一つ選べ。 22

資料

およそ人間の存在するところ、従って人間関係の成り立っているところには、その理法としての倫理が働いており、また何らかの程度に客観的な形にまでその倫理が実現せられている。ところでその倫理は、実践的行為的連関としての動的な人間関係の理法なのであるから、絶えず新しく歴史的に実現されなくてはならない。とともに、それは……一定の風土に根をおろした特定の社会として実現されなくてはならない。……

最初には倫理の実現として積極的創造的な意義を担っていた一定の人間関係が、全然反対のものに転化し、倫理に背反するような働きを示してくる。……倫理は当為の法則であるがゆえに、拘束力を持ちながらしかも遵守されないこともあり得るのである。そこで固定したものを打破し、背反するものを克服して、人間存在の動的展開をその健全な姿に返そうとする運動が、倫理の根源から押し出されてくる。

そうしてちょうど目前の境位において最も痛切に感ぜられる当為の要求に従って、新しい人間関係、新しい社会組織が作り出される。これが変革を通じて倫理の実現されて行く仕方である。

- ① 倫理の実現として人間関係の全体性を構築していた個人性が停滞した場合、新たに人間関係が組み替えられる。これは、倫理に反する個人性の恣意を全体性の権威により打破する人間存在の動的運動である。
- ② 倫理の実現として人間関係の全体性を構築していた個人性が停滞した場合、新たに人間関係が組み替えられる。これは、風土的制約からの解放を実現する人間存在の普遍的運動である。
- ③ 倫理の実現として個人性を規定していた人間関係の全体性が硬直化した場合、新たに人間関係が組み替えられる。これは、社会組織の変革を実現する歴史法則の普遍的運動である。
- ④ 倫理の実現として個人性を規定していた人間関係の全体性が硬直化した場合、新たに人間関係が組み替えられる。これは、既存の全体性に埋没しない個人性の意義を活かした人間存在の動的運動である。

第5問 次の場面1および後の場面2の文章を読み、後の問い(問1~5)に答えよ。

(配点 16)

場面1 「倫理」の授業の課題で、「動物の幸せ」について調べて発表することになった、生徒**G**、生徒**H**、生徒**I**は、先生がヒントとして示した「アニマルウェルフェア」というキーワードをたよりに、それぞれ調べたことを持ち寄り、次の会話を、後の**資料1**を見ながらしている。

G : インターネットで「アニマルウェルフェア」って言葉で検索をかけたら、農林水産省の Web ページが見つかるよね。

H : 国際獣疫事務局(OIC)の定義では「動物の生活とその死に関わる環境と関連する動物の身体的・心的状態」がアニマルウェルフェアなんだって。

G : 正直、言葉が難しくてよくわからない。

I : 農林水産省の平成29年の通知に、アニマルウェルフェアの内容が①「5つの自由」として整理してあって、それだとわかりやすいかな。

G : 確かに。**資料1**を見ると、「動物」といっても主に畜産動物を飼育するときはどういうことに配慮しないとイケないかについてのことだね。

H : これまで日本ではほとんど規制がなかったんだけど、欧州連合などを中心に、家畜にもちゃんと配慮した上で畜産業をやるべきだという流れが強まってきて、日本でも通知が出されるようになったみたいだね。

I : 授業で、畜産業も②地球温暖化に影響しているって話もあったよね。

H : 畜産業の人たちもいろいろ気をつけることが増えて大変だね。

G : そうだね、アニマルウェルフェアとか「5つの自由」とかに配慮したら、畜産動物も幸せなのかということを考えて発表すればいいのかな。

I : 畜産動物だけじゃなくて、実験動物についても倫理的配慮が必要らしいから、きちんと配慮しさえすれば動物は幸せなのかってことだよな。

H : 実験動物といえば、先生が心理学実験の話をしたときに、③人に対して実験するときの倫理についても説明していたけど、動物の心についても人間の心と同じように調べられるのかな？

G : 動物の心とか幸せを調べた実験があるか、もう少し調べてから集まろうか。

資料1 家畜の飼養管理において配慮すべき「5つの自由」

(1) 飢え、渇き及び栄養不良からの自由

家畜の発育段階等にあわせ、各畜種ごとの栄養要求を考慮し、家畜が量と質のバランスが適切な栄養と生理的要求を満たす十分な飲用水を得ることができるよう努める。(中略)

(2) 恐怖及び苦悩からの自由

家畜を過度又は突然の騒音が発生する環境下に置いたり、突発的に又は手荒に扱うといった不適切な取扱いは、家畜に恐怖や苦悩を引き起こすことがある。このため、畜舎などの家畜の飼養管理施設については、騒音が最小限となるよう維持・管理する。(中略)

(3) 物理的、熱の不快感からの自由

家畜にとって快適な温度域は、品種や発育段階等により異なる。このため、飼養又は輸送する家畜にあわせた暑熱対策や寒冷対策を行い、適温の維持に努める。(中略)

(4) 苦痛、傷害及び疾病からの自由

痛みを伴うおそれのある処置(去勢、蹄の手入れ、除角等)を行う場合、若齢時に実施する、獣医師の指導の下で麻酔や鎮痛剤を使用する等の方法により、家畜の苦痛を緩和するよう努める。また、家畜への苦痛の少ない代替方法等の実施も検討する。(中略)

(5) 通常の行動様式を発現する自由

(中略)群内の家畜同士が敵対して緊張感が増すことがないよう、群の構成に留意する。また、高い密度で飼養することは、けがの発生を増やし、摂食・摂水、運動、休息等の行動に悪影響を与える可能性があることに留意する。(以下略)

(出所) 令和2年3月16日付け農林水産省生産局畜産部畜産振興課長通知「アニマルウェルフェアに配慮した家畜の飼養管理の基本的な考え方について」により作成。

問1 下線部㉔について、生徒Gたちが参照した農林水産省の通知では、資料1のように「5つの自由」が説明されている。資料1でいう「5つの自由」の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① この通知にある「恐怖及び苦悩からの自由」のように「～からの自由」という形の自由は積極的自由と呼ばれる。
- ② この通知では熱の不快さからの自由は定められているが、寒さの不快さからの自由は定められていないので、農家は寒さには配慮する必要はない。
- ③ この通知で挙げられている「5つの自由」は、いずれも理性による自己立法を前提としていないので、カントのいう自由には該当しない。
- ④ この通知によれば、家畜同士が喧嘩するのは家畜の通常の行動様式であるので、喧嘩を自由にさせるのも「5つの自由」に含まれる。

問2 下線部㉕について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① IPCCの報告書では、地球温暖化対策においては科学的に確実な根拠がある場合にのみ規制措置を講じるべきである、という予防原則の考えに基づいて勧告が行われている。
- ② 家畜として飼育されている牛が排出するメタンは温暖化を促進する効果があることが指摘されているが、これは小さな環境負荷が集積すると大きな影響を生むという意味で、「共有地の悲劇」と呼ばれる構造の例となっている。
- ③ 世代間倫理の考え方によれば、現在世代が地球を温暖化させたならば、その利益も不利益も引き受けて暮らしていくのが、子孫である将来世代の現在世代に対する責任である。
- ④ 温暖化対策の枠組みを定める京都議定書においては、先進国だけでなく発展途上国にも温室効果ガス排出量削減の努力を求めているが、これは温暖化対策の公平性をめざすという意味で環境正義の考え方の一例となっている。

問3 下線部◎に関連して、生徒Hは、実験など研究を行うときの倫理原則について書かれた次の資料2をみつけた。資料2を参考にしつつ、人を対象とした研究の倫理について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 25

資料2 人を対象とした研究における人格の尊重原則

本原則は、個人を自律的な人間として扱い、その人が持つ権利を認めるよう求めるものです。自律性とは、判断能力(情報を理解し、処理する能力)と、自発性(他人によるコントロールや影響下になく、自由であること)の両方を兼ね備えていることを意味します。人格の尊重原則は、インフォームドコンセントの手続きや研究対象者のプライバシーを尊重する必要性の根拠となっています。

(出所) 一般財団法人公正研究推進協会「人を対象とした研究ダイジェスト」教材により作成。

- ① インフォームドコンセントは医療の現場で行われてきたもので、医師によるパターナリズムを研究の現場にも取り入れたものである。
- ② アンケート調査などで参加者が多数の場合はこの原則があてはまらないため、インフォームドコンセントを行う必要はない。
- ③ 研究に参加するかどうかはインフォームドコンセントを受けた本人の意思決定によるもので、途中で参加をやめることも認められる。
- ④ 研究に参加している者から実験の方法や手続きに関する改善要求があれば、参加者の自発性を認め、研究者はそれに従う必要がある。

場面2 生徒G, 生徒H, 生徒Iは, 発表の相談のため再び集まり, 次の会話をしている。

H: 調べたら, 動物も遊ぶのが大好きだったり, 仲間がいないとふさぎこんだり, そういうところは人間とちっとも変わらないんだって。

G: でも, 人間の場合は, ㊦成長していくなかで, 他の人との関係を築くことが大切だし, 一人一人の多様な幸せだけでなく, 社会全体の幸せもめざしているから, 人間はやっぱり人間に特有の面もあるんだよね。そう考えると, 人間の幸福と動物の幸福は違うんじゃないかな。

H: では, アニマルウェルフェアに配慮して育てられた家畜は幸せか, ということについて意見をまとめようか。Iさんはどう思う?

I:

G: どうしてそう思ったの?

I:

問 4 下線部㉔に関連して、青年期は社会を構成する一員として、他者との関係を培っていく時期である。この時期に特徴的にみられる個々人の心の発達について、次のア～エのそれぞれの説を提唱した心理学者を、後の a～d のうちから一つずつ選び、その組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 26

ア 社会的自我の形成には、他者が深く関わっており、さまざまな立場の他者との相互作用を通して、一般化された他者からの期待を身につけていく。

イ 自己中心的な立場から離れ、客観的で多面的なものの見方ができるようになり、具体的な事象を超えた抽象的思考が可能になる。

ウ 他者との間に信頼関係が築けるようになるには、乳幼児期に子どもと養育者との間で愛着(アタッチメント)が形成されることが重要である。

エ 道德性の発達において、人権や正義といった現実の社会の規則を超えたより普遍的な道德原理を基準に、道德的な判断ができるようになる。

a ピアジェ b ボウルビィ c コールバーグ d G. H. ミード

- ① アー a イー b ウー c エー d ② アー a イー c ウー b エー d
③ アー a イー d ウー b エー c ④ アー c イー a ウー b エー d
⑤ アー c イー a ウー d エー b ⑥ アー d イー a ウー c エー b
⑦ アー d イー a ウー b エー c ⑧ アー d イー b ウー a エー c

問 5 場面 2 の会話文中の空欄 **A** と空欄 **B** に当てはまる発言を、生徒 I になったつもりで考え、次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) まず、**A** に当てはめたい発言を、次の①～③のうちから一つ選び、そのいずれかをマークせよ。なお、(1)で①～③のいずれを選んでも、(2)の問いについては、それぞれに対応する適当な選択肢がある。 **27**

- ① 配慮が行われたとしても、家畜は幸せではないと思うな。
- ② 配慮が行われているなら、家畜は幸せだと思うな。
- ③ 配慮が行われなくても、家畜は幸せだと思うな。

(2) 次に、**B** に当てはまる、(1)で選んだ主張の内容に対する論拠を述べた発言として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 **28**

- ① 家畜にも人間と同じく幸福を追求する権利があって、アニマルウェルフェアに配慮したとしても、家畜はその幸福を追求する権利が不当に奪われた状態にあるからだよ。
- ② 自分が幸福かどうかを決めるのは他の誰でもない自分自身で、家畜自身が幸福だと思っているのであれば他人が勝手に幸福かどうか判断するのはおかしいと思うからだよ。
- ③ 行動の自由や選択の自由というのは幸福というものの一番中心となることで、アニマルウェルフェアに配慮したとしても家畜は行動の自由や選択の自由を手に入れることはできないからだよ。
- ④ 人間の幸福と動物の幸福は別もので、動物の場合は栄養や健康に配慮してもらえさえすれば最低限の幸福の条件は満たすと思うからだよ。
- ⑤ 畜産業ができなくなると肉が食べられなくて困るので、アニマルウェルフェアに配慮すれば畜産業は許容されるということは認めてほしいからだよ。

- ⑥ どんな状態であれ、生まれてきたこと、生きていることだけでも幸せだと思うし、アニマルウェルフェアに配慮していないとしてもそこは変わらないからだよ。

第6問 「倫理」の授業で、「社会と文化に関わる諸課題」から課題を選び、グループで探究する学習を行うことになった。生徒**J**、生徒**K**、生徒**L**のグループは、ジェンダーの問題に関心を抱き、「男女が共同して参画するコミュニティ」をテーマにして資料を探しながら意見交換を行った。次の**会話文1**と後の**会話文2**を読み、後の問い(問1～5)に答えよ。(配点 16)

会話文1

- J** : 世界がコロナ禍の中、各国の女性首相の活躍が話題になったね。ニュージーランドの女性首相は40代でリーダーシップを発揮していて驚いたよ。
- K** : 先駆けは、イギリスのサッチャー首相だね。イギリスは①女性参政権を獲得するための運動が最も早く盛んになった国の一つでもあるんだよ。
- L** : 日本は、女性が活躍しづらい社会なのかな。世界経済フォーラムの調査では、2021年の日本のジェンダーギャップは156か国中120位という厳しい結果だよ。ジェンダーギャップとは、社会における男女格差を測るものなんだ。
- J** : ある資料には、ジェンダーギャップが性別役割分担と関連していると書かれているよ。男女の役割についての固定観念が、②女性の社会参画を妨げる要因になっているのかな。
- K** : 日本では、女性の役割を家事や育児と捉える傾向がまだ強いのかな。女性の経営者や政治家が、他の国と比べてとても少ないよね。
- L** : 20世紀のはじめに性別役割分担について問題を提起した思想家に、アがいるね。「人は女に生まれるのではない、女になるのだ」という言葉を残したそうだよ。アの考えに基づくと、イといえるかもしれないね。

- 問1 下線部①に関して、生徒Kが資料を探したところ、女性参政権獲得のために尽力した19世紀の哲学者の自伝をみつけた。次の文章は、この自伝の一部である。この文章を読み、この自伝を著した哲学者の別の著書の一節として正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 29

男性を他の人間の法的従属下にとどめるべき理由が見出せないのと同じくらい、女性についてもそうすべき理由が私には見出せなかった。女性の利益は男性の利益と同じくらい十分保護される必要があり、女性を拘束する法律を制定するときに女性が男性と対等に発言できなければ、そうした十分な保護はほとんどありえないと、私は確信していた。だが、女性にその能力が与えられていないことが広く実践的な結果をもたらすという、私が『女性の解放』という本に書いた認識は、おもに彼女[この哲学者の妻]からの教えを通じて得られたものだった。

- ① 「どの文明社会の成員に対しても、その意志に反して権力を正当に行使できる唯一の目的は、他人への危害を防ぐことである。」
- ② 「共感とは、互いに助け合い守り合うすべての動物にとって非常に重要な感情であるので、自然選択を通じて強められてきただろう。」
- ③ 「詐欺と略奪を生業とする者たちに、彼らが認めて同意する誠実と正義の生得原理があると、いったい誰が言うだろうか。」
- ④ 「人間は自由なものとして生まれ、いたるところで鎖につながれている。他人の主人だと思っている者も、その他人以上に奴隷である。」

問2 下線部⑤に関して、次の文章は、課題探究において規範を論理的に導く際に犯しがちな誤りを、先生が解説したものである。これを踏まえて、選択肢に書かれた前提(下線部以外の文)が仮にすべて本当であったとしても、結論(下線部の文)が必ずしも論理的には導かれない意見を、後の①～④のうちから一つ選べ。なお、選択肢に書かれていない前提は考えないものとする。 30

私たちは「〇〇である」という事実のみから、即座に「△△すべきだ」という規範を導きがちですが、これは論理的には誤りです。たとえば、「男子に比べて女子は文系に進む割合が高い」という事実から、ただちに「女子は文系に進むべきだ」という規範を導くことはできません。というのも、この規範を結論として論理的に導くには、ほかに「女子は、文系と理系のうち、男子に比べて女子の進む割合が高い方に進むべきだ」という規範が前提として必要ですし、これが本当かどうかもわからないからです。とにかく気を付けてほしいのは、「△△すべきだ」という規範を論理的な結論として導くときには、前提にも必ず「××すべきだ」という規範が必要だ、ということです。

- ① 自分は育児に不向きだと思う親もいる。だが、親が育児に消極的であるべきではない。ゆえに、自分は育児に不向きだと思う親も育児に消極的であるべきではない。
- ② A町では平均して男性のほうが女性よりも筋力が強い。しかし、A町では最近、筋力の不要な仕事が急激に増えている。だから、A町は女性の就労支援にただちに乗り出すべきだ。
- ③ 社会は就労希望者の就労を支援すべきである。また、子どもを産んだ人の中にも就労希望者は多い。それゆえ、子どもを産んだ就労希望者の就労も社会は支援すべきだ。
- ④ 人々は自分に合っていると思う仕事をすべきだ。ところでB町には、自分には力仕事が合っていると思う女性も多くいる。したがって、自分には力仕事が合っていると思うB町の女性は、力仕事をすべきだ。

問 3 会話文 1 中の空欄 **ア** には後の人名 **a** か **b**，空欄 **イ** には後の記述 **c**～**e** のいずれかが当てはまる。当てはまるものの組合せとして最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 **31**

空欄 **ア** に当てはまる人名

- a ヴェイユ
- b ボーヴォワール

空欄 **イ** に当てはまる記述

- c 政治は，暮らし全般に関わることだから，女性らしさを生かした視点を組み込むことは不可欠だ
- d 社会的，歴史的につくられた女性のイメージが，女性の政治参画を阻害している
- e 少子化という社会問題を受けて，子育ての中心的役割を担う女性の政治参画がますます重要になる

- ① ア－a イ－c
- ② ア－a イ－d
- ③ ア－a イ－e
- ④ ア－b イ－c
- ⑤ ア－b イ－d
- ⑥ ア－b イ－e

会話文 2

J : 私たちの地域でも、性別役割分担の意識はまだまだ残っていそうかな。

K : ある自治体では、ジェンダーの問題を、㊦都市部への人口流出の一つの要因と考えているみたいだね。農村部から転出した若者のうち、地元に戻った人の割合は、男性が50%、女性は25%だったみたい。ジェンダーギャップを解消して、女性が活躍しやすい地域を作ることで、人口還流をめざしているんだって。Uターンだけでなく、Iターンも増やそうという方針みたいだね。

L : Uターンは地元に戻ることだよ。Iターンって何？

J : 地域外の人に移住することだよ。大都市圏に住む人の農村部への移住の関心は高まっているみたい。リモートワークの普及もプラスに影響しているらしいよ。

L : さらに「関係人口」というキーワードも生まれているよ。移住者や観光客とは異なるさまざまな形で、地域とつながりをもつ人たちのことを指すんだって。SNSのような情報ツールの拡大は、関係人口の増大をもたらすことが期待されているそうだよ。「関係人口」についての資料を探してみるよ。

K : 誰もが暮らしやすい㊦新しいコミュニティを実現することが地域の強みになるのかもね。

問4 下線部㉔に関して、日本ではこのところ地域間の人口の偏りが大きくなって
いる。都市部から農村部への人口還流の必要性について、生徒Jたちは、次の
ア～ウの考えを、それぞれ後のa～cの思想家の理論を応用して導いた。ア～ウ
は、それぞれどの思想家の理論を応用したものか。その組合せとして最も適当
なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 32

ア 人口還流の問題に対して何をすべきか、そのことについて多様な立場の人が
対等に討議し議論を深める場を形成することが重要である。そのことによ
って、より一般的な視点からの合意が生まれ出され、問題解決の手がかりが見
えてくる。

イ それぞれの人が自分の可能性を広げる社会を実現することが重要であり、
人は価値があると考える生き方を自ら選択できるような環境を整えていく
ことが、人口の還流につながるのではないか。

ウ 私たちには居住の自由という権利がある。個人の自由は尊重されなければ
ならない。人口還流を目的として公的資金を投入することは、国家のもつべ
き最小限の機能を超えることであり、個人の自由への不当な侵害につながる。

- a ノージック
- b ハーバーマス
- c セン

- ① ア－a イ－b ウ－c
- ② ア－b イ－c ウ－a
- ③ ア－c イ－a ウ－b
- ④ ア－b イ－a ウ－c
- ⑤ ア－a イ－c ウ－b
- ⑥ ア－c イ－b ウ－a

- 問5 下線部④に関して、生徒Jたちは、生徒Lが見つけた次の資料をもとに、誰もが暮らしやすいコミュニティを実現するために大切なことについて話し合った。問4のア～ウのそれぞれを手がかりに導いた考えとして**適当でないもの**を、後の①～④のうちから一つ選べ。 33

資料

地域に住む人々だけでなく、地域に必ずしも居住していない地域外の人々に対しても、地域の担い手としての活躍を促すこと、すなわち地方創生の当事者の最大化を図ることは、地域の活力を維持・発展させるために必要不可欠である。このため、地域外から地域の祭りに毎年参加し運営にも携わる、副業・兼業で週末に地域の企業・NPOで働くなど、その地域や地域の人々に多様な形で関わる人々、すなわち「関係人口」を地域の力にしていくことをめざす。関係人口は、その地域の担い手として活躍することにとどまらず、地域住民との交流がイノベーションや新たな価値を生み、内発的発展につながるほか、将来的な移住者の増加にもつながることが期待される。

(出所) 総務省『まち・ひと・しごと創生総合戦略』により作成。

- ① 関係人口の拡大は、多様な背景をもつ人々のコミュニケーションがさらに重要になることを意味する。異なる価値観をもつ人々が膝を突き合わせ、地域課題を本音で語り合うことが求められる。
- ② 地域内外の人々が、多彩な関わりの中で、それぞれの可能性を生かすことができるようになることが、関係人口を地域の力とするうえで重要であり、新たな価値創造や内発的発展につながる。
- ③ 地域に根づいた伝統的な祭礼は、関係人口を拡大するきっかけとなる。毎年地域住民が祭りの担い手として伝統を守り伝えていくことが、地域の活力の増大につながり、新たな価値創造のきっかけをも生み出す。
- ④ 関係人口の拡大が重要であるとしても、そのための支援を政府が中心になって進めることは、地域内外問わず人々の自由意思をないがしろにすることになる。関わる人々が地域の維持・発展をどう考えているかが重要である。